

IV 自由回答

1 就学前児童保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 小学校の先生の数が足りていないという話を耳にして、とても心配している。教師に負担をかけるのも本意ではないが、子どもの教育をどの程度見てもらえるのか。不安を感じている。
- ・ 教育者、保育者が働きやすく高い給料をもらわないと未来は先細りだと思う。フィンランドの取り組みが成功したのは教育者への給料アップにより、人気の職業になったから質の高い教育につながっている。施設よりも人育てに力を入れて欲しい。
- ・ 佐倉市の公立幼稚園が存続の危機にあり、不安である。佐倉市の予算状況を市民に知らしめて、公立幼稚園は廃止すべきと進めている教育委員会と市長は子育て支援を真剣に考えているとは思えない。弥富小学校は他の学区から児童を受け入れて小規模特認校として成り立っているのに、併設する弥富幼稚園を閉園にしたのはおかしいと思う。一つだけ残っている佐倉幼稚園の存続を切に願う。
- ・ 佐倉幼稚園は年少から入園できるようにしてほしい。
- ・ 保育園に落ちたため自宅保育をしているが、ゆめさくら館の一時預かりがとても有り難い。ただ認知度も上がってきて、枠がすぐに埋まってしまうので気軽に利用はできなくなってしまったのが残念。
- ・ 保育園（認定こども園）の預かり時間が遅くて間に合わない所がいくつかある。（遅くとも7時には預けたい）
- ・ また小学生の学童もただ預かるだけでほったらかしのように感じるので宿題をみてあげたり、習い事への送迎をしてもらったり充実した時間を作って欲しい。

2 地域における子育て支援

- ・ 助成金が欲しい。物価高で財政面が厳しい。
- ・ とにかくお金がかかる。補助金を出してもらえるのが何より1番助かる。
- ・ 給食費の無償化を希望する。
- ・ 医療費無償化にしてほしい。
- ・ 妊娠・出産・子育てを経験してみてとてもお金がかかると感じた。妊娠中の検診費用から出産費用、入院費用、生まれてからも揃えるものも多く、負担が大きいと思った。教育費の負担軽減があるととてもありがたいと思う。
- ・ 学童保育所に入れられない不安がかなり大きい。幼稚園のうちは預け先に不便を感じないが、小学生になってからがとても不安。小学生の女の子を家で1人で長時間留守番させることになる。志津学童保育所の管轄で考えているが、3年生以上の知り合いの半数は落選している。
- ・ 低収入の人ばかり給付金が多いけど、低収入じゃない人だって子供にお金がかかる。限定なものではなく子供に対しての給付金があったらありがたいなと思っている。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 医療に関しても、夜間の小児医療がいそいでいる時は近くにあると助かるし、電話をかけても繋がらない時間帯や対応出来ないと断られる人もいる。誰でも連絡すれば、対応出来るようになって欲しいと願っている。
- ・ 小児救急の時間短縮はすごく困った。代替は、電話相談とのこと。クリニックの小児科も小児救急もやってない時間は、どこなら受診できるのか、わかりやすく情報をまとめてほしい。
- ・ 土曜日の夕方に子供にアレルギー反応があった際、土曜日に診療している小児科は終了時間間近なので診察拒否か電話すら出ない。#8000 も#119 も対応時間外。かかりつけ医の先生に電話して急遽見て頂きましたが、子供の医療に空白の時間が出来ないようにして欲しい。夜間救急もなぜ時間が短縮されたのかわからない。世帯数を増やしたいなら子供関連は充実させるべきだと思う。
- ・ 健康管理センターの夜間診療時間が短くなった。
- ・ 病児病後児保育も利用したいと思うが遠い為断念している。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ 子供が病気で保育園を休まないといけなくなったときに父親も仕事の休みを取りやすくなるような社会になってほしいと思う。
- ・ また学童保育が定員オーバーで小学校3年生は入れない状態を改善して欲しい。防犯の面から安心して1人でお留守番させられない時代になっており、学童問題からフルタイム→パートへ切り替える母親が多い現状を知って欲しい。
- ・ 働くママパパに優しい環境が揃って欲しい。土日祝日の環境が悪い。
- ・ 子育て費用への支援はもちろん必要ですが、親の長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進といった子育てにかけける時間の創出への支援が最も必要と感じる。
- ・ 就労の規定等で育休が取れず、上の子の保育園を継続して通い続ける為に産休明けに仕事復帰せざるを得なかったこと。可能なら半年くらいまでは手元で見てあげたかった。育休の有無などは関係なく第二子以降の出産の場合、一年又は半年は上の子の保育園に通い続けられるような制度を作ってほしい。みんなが我慢せずに安心して子育てしながら働ける社会になってほしい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 障害のある方への虐待などが度々報道されているが、カメラを部屋につけいつでも確認出来るようにするなど出来たら安心かと思う。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ 学校に安心して飲める水の提供をしてほしい。特に夏場は水筒が重すぎて通学が大変。水筒の中身がなくなると飲める水がないと子供が言っている。近場に習い事の教室が少なすぎる。
- ・ 家の近くの公園の遊具が壊れているのにずっと放置されているのが気になる。また、公園の遊具が新しくなったところもあるが、以前の遊具よりも小さくなって、さみしい感じになった。子供が少ない地域だからなのかもしれないが、公園という場所がせつかくあるので、もう少し思い切り楽しめる遊具を設置してほしい。(壊れている遊具を変えてほしい)

- ・ 通学路が歩道がなく、道が狭い場所もあり、車もスピードだしてくる道もあるため、歩道や街頭の整備をして欲しい。子供が安全に遊べる公園がない。近くに整備して欲しい。(あっても雑草が放置してあったり、遊具がなかったり) 通学路の道端の草がすごくて、市が定期的に除草して、安全に通えるようにして欲しい。
- ・ 市に活気を取り戻すためにも子育て世帯が移り住みたいと思うような魅力的な街作りをしていかなければ人口減は止まらないと思う。ふるさと広場に銅像を作るより先にすることは、チューリップフェスタ等の際の渋滞の軽減だったり、人がまた来たいと思うような環境整備が先だと思う。せっかく人が集まるようなイベントになってきているのに、アイスを買うだけでも行列になっていたりで勿体無いと思う。
- ・ 子育てをしていく上で人あたりはとても良い。駅がエレベーターか階段のみでベビーカーだと仕方なくエレベーターを使うが、エスカレーターがない為、朝の登園時は通勤者を譲り中々上にいけず子供がグズっている。エスカレーターが設置されると駅も利用しやすくなると思う。
- ・ ユーカリが丘に図書館(児童図書)を設立してほしい。

7 その他

- ・ 以前赤ちゃんの駅のステッカーが貼ってある施設を利用したが、子供は施設から退出して欲しいとの旨を男性職員の方に言われた。女性職員の方にそれを伝えた所大変驚かれて戸惑っていた。市の公共施設。ステッカーもあるしと安心してた所この様な事が起こり大変残念。職員にも内容指導が行き届いているか不明のうちただステッカーのみ貼ってアピールしても意味はなさないのではないかと。市役所に相談しても施設の管理責任者でしか何も出来ないと言われ、この事業に関するシステムは何も起動してない様に思う。
- ・ コミュニティバスですが、もっと本数と停車の場所を増やしたほうが車を持っていないでも便利に暮らせるようになるのではと思う。手入れのされていない山や空き地などは、不審者にとっては良い隠れ場所になると思うので…そういう場所を公園やみんなの為の施設にして活用したほうが良いと思う。
- ・ 今後も子どもたちが暮らしやすい環境を整えていただけたらと思う。
- ・ 志津市民プラザ内の児童センターを上の子の時に利用していた。とにかく駐車場が狭いと感じた。駐車場の空きを待って子どもがグズって帰ることもあった。児童センター以外の利用も多いところでなぜあの駐車場の広さなのか。以前、市民プラザが出来た時に、利用する人は徒歩。電車を使えばいい。とのことで駐車場が狭くなったと聞いたことがあった。住んでいるところからは徒歩では行けない。志津の駅から直結ならまだしも小さい子を抱え、暑い日、寒い日、雨の日歩いていく事を考えたら…無理。お年寄りも同じではないか。私が住んでる地域は最寄りの駅が車で15分かかる。スーパーも遠い。車が主な交通手段である。そういう人のことをよく考えてほしいと思う。
- ・ 今回アンケートがネット上でおこなえてとてもよかった。

2 小学生保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 学校教育の中で、指導してほしいのが、小学生でも、携帯電話を所持する年齢が、早くなっている為、善悪の判断がつかないまま活用しているのが、全学年、1年生からでも、携帯電話の使用法の講習会などを開催してほしい。放課後など、携帯電話を持って遊びに行く子供も多く、携帯でゲーム、課金。勝手にお友達と遊んでいる所などを撮影し、(いつも子供だけで遊んでいる場所、公園、大人がいないなど、顔などにもモザイクもなく)インスタグラムやLINE、その他に公開しているなど、危ないので危険性を子供と保護者向けに発信してもらえたらと思う。携帯を持たせている保護者の方でも、子供さんと連絡を取る為に持たせている場合が多く、LINEやインスタグラム、YouTubeなどで場所特定されるなどの、危険性は余り子供さんに注意されていないようです。LINEも本当は、年齢制限があり小学生が使えないはずですが、保護者さんが使えるように登録されている人が殆ど。新学期の度に、携帯電話の取り扱いなどの注意喚起があればと思う。
- ・ 北志津地区に住んでいるが、小中高生が学習できるフリースペースがほぼ無く、必要性を実感している。兄弟が多い、家で集中して勉強する環境に無いなど。また図書館も充実させてほしい。市民センターの学習スペースは早い時間に閉館となり、放課後に利用する事はできない。駅近は利便性が良いが、志津小学区には子ども食堂もない。高学年になると学童も入れず、行きたがらずで、長期休み等で利用できたらいいなと思う。
- ・ 学校の先生が大変そうで心配。子供の話を聞いていると、特に最近外国人(日本になじめない又はなじもうとしていない)や支援級対象ではという子が多い気がする。その指導の度に全体への指導も止まり、子どもも辟易しているようで、インクルーシブ教育にはなっていないのではと感じる。我が子は近所の公園は、外国人ばかりでもう日本じゃない、と最近行かない。数年前、ご近所から苦情があったのか、夕方(といっても18時過ぎ)先生が指導にいらしていた。
- ・ また、コロナ禍により、学校行事の縮小が続いている。授業時間の短縮や、休み時間の短縮、以前行われていた行事がなくなったままなど。小学校の運動会も今年も午前中開催で、物足りなさを感じた。学校で体を動かす機会が減り(休み時間も短くなり、校庭で遊ぶ機会も減っていた)子どもの運動不足も心配になる。コロナ前のように、活気のある学校生活に戻ることを願う。学校行事もコロナ前のように戻してほしい。よろしく。
- ・ 小学校、中学校の選択ができるようになると嬉しい。自宅から見える近い学校が学区外のために、30分かけて登校する状況のため。

2 地域における子育て支援

- ・ 子ども手当の支給に、親の収入の限度額を設けず、親の収入に関わらず、皆同じように手当を支給してほしい。限度額を超えたからといって子ども手当が支給されなくなるのは、不公平な感じがする。親の収入は努力したから増えるのであって、収入が多いからといって子どもにかかる手当をなくすのではなく、子ども手当は子ども一人ひとりに支給されるべきものであってほしい。子育てにお金がかかるのは皆一緒なので、そこは親の収入にかかわらず皆平等にしてほしい。
- ・ 子供が3人いるので、給食費無償化など教育面で補助がもう少し充実すると余裕を持って生活できると思う(習い事の補助など)

- ・ ファミリーサポートセンター、病児保育、病後児保育は事前登録が必要で、実際利用するまでのハードルが高いと感じる。また、病気の子供を預けて仕事することに大変抵抗があるため、子育てをし易い社会にするには、働きやすくサポートすると言うよりは、休暇が取りやすい社会が良いと思う。
- ・ 0、1、2歳児の保育料も無償にしてほしい。
- ・ 高校無償化が早く実現してほしい。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 公園の遊具をもっと整備してほしい。公園のトイレを綺麗に整備してほしい。補助金を出さずなら所得等で制限を行わず全員に配るべきである。
- ・ 佐倉市は好きだが、ベビーカーが通りにくいガタガタ道、ミレセン定休日はエレベーターが使えない、佐倉駅前が寂しいのとママたちで気軽に安く食べられるところがないのが残念。それと、学童以外にも遊べる場所や公園の整備、ミレセンでもヤンプラでも安く講習や習い事的な（子供向けのジャグリング教室、習字、工作教室など）シニア向けはたくさんあるが子供向けなものも開催してもらって、子育て世代を増やして税増収に向けて他都市のように頑張ってもらいたいと思う。
- ・ 公民館や児童センターが近所に無く、赤ちゃん、幼児向けのイベントは良く見かけるが、小学生、中学生が体験し遊べる環境は少ないと感じる。子育て課と教育委員会の連携が大事では。
- ・ 子供が遊べる屋内施設がもっとあればと思う。
- ・ 異常気象も多い今の時代に子供の学校後の過ごし方、長期休みの過ごし方に非常に不安がある。学童は希望しても入れず、寺崎地区より自分でいける児童センター、老幼の館、ヤングプラザは存在せず子供同士の遊びとなると高学年女子となると遊ぶ場がない。地域差がかなりあり早急に子供の居場所づくりを考えてほしい。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ フルタイム（事務職）で働きたいと思っていますが、母親である私が家事、育児を主に担っている。そのため近場で働きたいと思うが佐倉市には企業も求人も少なく、思うようにいかない。現在は時短の派遣で都内まで通っている。通勤に往復3時間近くかかっている。もっと母親が働しやすい環境、雇用を整えてほしい。夏休み、子供は友達と遊びたいと言うが外は暑すぎて公園などでは遊べない。家で友達と毎日遊ぶのは家庭の負担にもなるし不公平感もある（子供を家で遊ばせない家庭もあるので）子供が夏の暑い日でも友達と遊べる環境を作してほしい。上の子が中学生だが教育費がどんどんかかって未来が不安。子育てしやすい世の中になってほしい。
- ・ 以前ラーケーションというものをテレビで耳にした。調べてみたら他県などはやっていますが、佐倉市はやっていないようだ。土日、子供は習い事のため、遊びにも行けずわたしは観光業で働いているため、繁忙期になると連休も取れない。ぜひ佐倉市でもラーケーションを取り入れて頂きたいと思った。平日1日だけでも都内や他県の博物館など連れていきたい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 子どもの発達の中で、佐倉市の教育センターに相談をしたことがある。相談内容は学校と共有するというので、始めは何となく話しづらかった。結果的には学校と共有して頂いたことで良かったと思っているが、もう少しハードルの低い相談場所があったのか、そういう情報を事前に知っていれば相談場所を選択できたのかなと思うことがある。
- ・ 発達障害の子どもが居るが、あまり縦の繋がりが無く、数年後を見据えて先輩方の率直なお話を聞きたい。具体的な進路等も含めて。学習支援の放課後デイを増やしてほしい。不登校や発達に遅れのある子に対応可能な専門的な施設（学校）がある事が理想的ですが、余りにも対応に時間がかかり過ぎていると感じている。現在小5、小学校入学前から、希望し続けているが、恐らくこのままでは、変わらぬ対応のまま中学も卒業してしまうだろう。あと何年かかるだろうか。少なくともあと10年か、20年か。他国では50年も前から公立のギフトテッドスクール等あるのに。早急に希望する。スクールバスも。個人的な希望だが、子どもが感覚過敏なので中学校の制服があっても私服可にして頂きたい（公立フリースクール、ギフトテッドスクールがあれば可能なのでは）できれば高校も。千葉県には私服可の学校は数校しかない。都立高校などは私服が多数あるが、千葉県からは受験できない。学生生活は楽しみたいけれども、気になる事があると、落ち着いて生活できないよう。年々少しずつ悪化しているような気もする。今後が不安でしかない。
- ・ 引越し来る前はジェンダーのチラシや授業があった。佐倉市はない。時代に遅れをとっていると感じます。小学校は特に、男女で通学帽子をわけている。自分のジェンダーに疑問を感じる子もいるはず。男女で分かるのは酷だし、差別だと思う。男女どちらの帽子でも可能、となってもファーストペンギンは負担が大きいと思う。男女共通にすべきだと思う。もっと子どもファーストで子どもの意見を聞く佐倉市になってほしい。
- ・ 小学校の支援クラス（情緒面、集団の中での学習が苦手なため）を利用させて頂き、先生方、スクールカウンセラーの先生、教育センターの先生方にお世話になりながら、今はなんとか通常クラスを中心に元気に学校生活を送れており、大変感謝している。他の兄弟もお世話になったが、支援、相談窓口がなければ、低学年のころから、色々な面で不安定になり、登校が出来なくなっていたと思う。学校とは別に、教育センターでも相談することができたのも、なかなか直接お世話になっている先生方には相談しにくい内容のものを、相談し、アドバイスを頂けて、大変心強く感じた。中学生まで給食があることも、栄養面的にも大変助かっている。近年、英語授業の増量に伴い、草笛の丘での体験がなくなったり、コロナ禍や、危険への配慮で、運動会の組体操がなくなり、天候により生徒への不公平に繋がる可能性がある。5年生で楽しみにしていたカヌー体験がなくなったりと、様々な面で、子供たちが前の世代では体験出来ていたものが減少している事は、仕方が無いと理解しているが、残念な事。お手間ではありますが、該当保護者へ、アンケート等で家庭の意思をきいてから、意見多数により中止になりました等があれば、反対が多数ならば仕方が無いと納得もできたのだが。同じ佐倉市であっても、保護者の受け止め方は地域差があると思う。学校により差があるのも特色の一つとは思いますが、以前やっていた事を無くしてしまうのであれば、決まる前に事前のお知らせや是非を問うアンケート等があると良いと思った。長文にてすみません。3人を、佐倉市で出産し子育てを経験しているが、佐倉市は子育てするには住みやすくよい市だと思う。特に夜間小児救急があることは、とても安心して子育てできる環境だと思う。お世話になる。これからもよろしくお願い。
- ・ 子どもの心の病院（児童精神科）に相談しようとしたが、そもそも該当の病院数も少なく、予約も診療の日にもかなり限定的で困っている。そもそも情報が少なく、やはりあまり誰にでも聞ける内容でもないの、情報収集源がネットなどに偏るので、信用していいのかわからない。理由は発達障害、グレーゾーン等々と色々な角度はあるかと思うが、相談窓口がはっきりしていたり、間口が広い、専門家がいる、病院を紹介してくれる、秘密は守られるなど、明確に開示されていたら、親子の八方塞がり感は弱まるかなと思う。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ このアンケート自体が不満、何をしたいのか不愉快な質問もあり今後回答はしたくない、小学生の息子に回答を強要することはしないようお願い。
- ・ 私はアフガニスタン人。学校や幼稚園からの手紙が全くわからない。子供の日本語レベルも心配。学校で外国人のための日本語指導が必要だと思う。子供がドンドン勉強できなくなる。
- ・ 学校に相談してもなかなか改善されない場合、どこで誰に相談すれば良いのか具体的な相談窓口などをもっと公表してほしい。

7 その他

- ・ 佐倉市はまだまだ時代から遅れている印象がある。子供にも高齢者にも優しい佐倉になってほしい。市民が求めているものと、実際に行われている政策の温度差を感じるのもっともっと市民の声に耳を傾けてほしい。
- ・ Z世代以降の人たちは、そもそも、恋愛、結婚、出産、子育てに興味、価値を感じていない人が多い。結婚しない、子どもを産まない、特定のパートナーを持たないのが今後、当たり前になってくると思う。子育てや家族が、魅力的と感じるようになっていかないと難しいと思う。

3 中学生保護者

【分類別の主な意見】

1 質の高い教育・保育の総合的な提供

- ・ 部活動の縮小が著しく、子供達の選択肢がなくなって来ている。習い事（クラブ活動、塾）をする際、親の負担金銭的負担がかなり多く、実際に教育、運動は金銭的に裕福な家庭のみが出来ている感じがする。子供がやりたくても、やらせて上げられないのが実情であると思う。1人親で年収が600万以下の子供達は、かなり教育に制限がかかっている（子供が2以上）。
- ・ 少子高齢化社会における学校という施設の根本的な見直しが必要。学校を子供だけの教育施設と考えれば、施設の充実に要する予算も得られずますます老朽化が進むばかり。学校の施設（体育館や運動場、図書室など）にもっと予算をかけて充実させ、子供だけでなく地域に広く開放する公共施設としてほしい。そうすることで地域との世代間交流や活動が増え、学校という施設がソフト面でもハード面でも、普段から地域の幅広い年齢の人にとって活用される場になり、災害や緊急時の活用もスムーズになる。その他にも、一人暮らしの高齢者の孤食、放課後から夜まで両親が不在となる共働き家庭の子供達の孤食を防ぎ、世代を越えた人付き合いの中で協調性を学べる場になる。運動場や体育館も子供だけのものでなく、地域住民の体力健康づくりができる場所としての提供が行われれば素晴らしいと思う。学校という施設概念を180度変えて考え設備投資することが今後の教育福祉地域活動に必要となる時代になったのではないかと思う。
- ・ 時代とともに子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきていると実感している。便利で時短がもてはやされる現代で、心はどんどん退化していっているように思う。こどもたちはあらゆることに対して圧倒的な経験不足、加えてコロナ禍でその経験不足はさらに拍車がかかった。先日体育祭があった。午前中のみ体育祭で、演目も個人的なものばかりで、迫力に欠け、やれるだけでもありがたく思わないとならないのかなと残念に思った。6歳差の姉がいるが、姉の時は騎馬戦やロックソーランなど、団体が大きな演目が多く、子どもたちも力を合わせてひとつになっていこうと努力し、かなり盛り上がったことを覚えている。コロナ禍を引きずったまま、行事などは縮小されたままになってしまうのだろうか。子どもたちには小さなことでも丁寧に経験させてほしい。ギガ教育などという無意味なことに莫大な予算を割くのなら、教員の待遇をもっと改善し、校内の環境整備に（通学路の安全確保なども）大きく予算を使ってほしい。
- ・ 学校の先生が少ない、忙しく時間がないため子供や保護者が先生に気軽に相談が出来ていないように感じる。子育ての環境や支援も大事ですが、教師の育成にも力を入れて頂きたい。
- ・ 学校だと授業時間も短縮されて、学力はどこで補充されているのか、また、教員は異動した分の補充はされてなく、担当外の教科を教えているのを見ると、指導が追いつかず、先生達の努力ではどうにも出来ないことが起こりそうで心配。人材不足が深刻に感じる。これから、暑さが深刻になるので子供達の特別教室にもエアコンをつけてあげてほしい。学校の老朽化が激しくて幼稚園は綺麗だったが、そこから、学校に上がった時に、急に汚いことに愕然とする。子供と教員の人数が減って、掃除もまかないきれないのではないか。

2 地域における子育て支援

- ・ 教育費がかかり、値上げもあり、給与も上がらず生活苦を感じている。佐倉市独自の児童支援を望む。塾代補助、給食費補助、所得関係なくお願いしたい。高齢者がふえ、活気がなく、どの駅前もぱっとしない。観光が無い。18歳まで医療費補助は助かった。
- ・ 年齢が上がるにつれて、お金のかかることが本当に多い。塾や習い事等の教育費、通信機器や持ち物、被服、部活の費用、学校の集金等、どこまでも際限なくお金がかかる。賃金は急に上がらないのに支出がどんどん上がるので少子化が止まるわけがないと思う。個人で解決できるレベルではない。現状でも学校運営の改革等取り組んでいただいているのは理解しているが、高齢者福祉以上に子供達へ、将来への投資として行政、政府に真剣に取り組んでいただきたい。子供達はあつという間に大人になり国を支える側になるので悠長な事は言っていられないと思う。
- ・ 高校、大学と進学するに連れて学費がとてかかるので子供が学生の期間は継続して補助金制度があると良いと思う。
- ・ 子供のための支援が子供まで届いていないと思う。教育を支援するとしたら、金銭面以外にも送り迎えや安全性が不可欠となると思う。習い事も無料で通える取組を行っても良いのではと思う。所得によって学力格差が明確になっているなら、尚の事低所得家庭には教育費として支援すべき点だと思う。
- ・ 子供の未来の可能性を広げるために、様々な経験をさせてあげたいと思うが、3人それぞれにかかる費用が大きく、子供の希望に沿ってあげられないと悩みます。幼稚園では預かり保育費用補助がありましたが、学童にはないので、就学するとより負担を感じている。

3 すこやかに生まれ育つ環境づくり

- ・ 幼保、小学生には、せめて公園に遊具設置はしてほしい。広場だけの公園に子供が集まっている姿はほぼ見たことがない。高齢者もいない。ベンチだけで草だらけの公園は誰に向けた施設なのか分からない。あと市民体育館、中学校の部活で他の市営体育館を使うこともあるが、ダントツで劣化が酷い。市民体育館を使うのが恥ずかしいレベル。コレも他と比べてよく見てほしい。お金をかけた夢咲くら館、子供達ほぼ使っていない、残念ながら。4代に渡って市内に住んでいるが40年前と変わらないなと思う。悪い意味で。佐倉市が他と比べて、働きながらの子育てがしやすいと言える要素は何もないと思う。色々課題はあるようだが、子育てのリアルな声を拾い、まずはやってみる、時代に合わせて変化させている他市の子育て支援制度など、参考にしてみしてほしい。
- ・ 部活動に関して、小学生から続けているスポーツの部活がなく、続けたい意思があるのでクラブチームを探し遠くて通うのが大変な状況。地域移行が進められているが、近隣の学校の部活動に参加ができ、スポーツに本当に意欲がある子にとっての環境が充実してくれたら嬉しい。
- ・ 小児夜間救急の対応を改善してもらいたい。
- ・ 放課後にそのまま通える習い事系を斡旋してほしい（限られた学年だけでもよいので）そろばん、書道、楽器演奏、囲碁将棋、空手など。それほどスペースを必要としない、かつ地域でそれらの特性をもつ方々と連携するなど地域でできることだけでもよいと思う。将来の子どもの何かしら選択肢に少しでも繋がれば。子どもが地域の図書館を利用する機会が減っていると聞いている。幼少期、両親が共稼ぎ（パート含む）で平日の夕方、土日にそのような時間をとることができないからのよう。学校に入学して図書室を知るわけだが、佐倉市には大変立派な図書館がある。幼少期から本に触れる機会をもっと持てるような工夫があるといいと思う。活字に触れることは、中学生になり多方面で花開かず。我が家は中学生なので、もう必要のない事案ばかりだが今後の参考になればと思う。
- ・ 生活している自治体に、子どもが集う環境があれば良いと思う。自治会館の解放などしてもらえるとありがたい。

4 仕事と子育てを両立させる社会づくり

- ・ 誰かの助けなくして子育ては両親だけではなしえない。共働きで働く社会で子ども中心といえども子どもと親の1日の生活スケジュールを、少しでも家の近くで負担を軽減できる場所や機会があれば親子健やかに生活していける。また、小学校などの学校給食を高齢者や地域の人達に広く提供できる場が近くにあったりすると毎日の食事作りの負担が少なくなり子どもとの関わりや地域との繋がりもしやすい。
- ・ PTA 活動を負担に感じている。難病を患い通院しているなか、PTA 活動は難しいが理解して貰えない。「働いている人も役員やっている人もいる」と強要されるのがつらい。昔の専業主婦家庭が多い時代とは違うので、PTA 活動のあり方を見直してほしい。

5 配慮が必要なこども・子育て家庭への支援

- ・ 人口が少ない地域へのコミュニティバスの利用が可能になると良い。駅までの移動手段がコミュニティバスの廃止により不便になった子供が学校や習い事に行く移動手段がなくなった。障害者がコミュニティバスに乗らせてもらえなかった事例があった。
- ・ 今は本当に心の病を持つ子も多い。しかし、診てもらえる精神科も少なく、実際にかかりたくても数ヶ月待ち。というのが現状。親も病気になってしまう。もう少し、そういう人達に優しい行政活動を行なってほしい。と心から願う。
- ・ 世の中にはたくさんの相談窓口があるが、そこに連絡するのはかなり勇気のいるもの。窓口を設置することだけで子育て支援を充実させていると思込まず、もう一步踏み込んだ支援を望む。私は2人の子がいるが、2人とも一時期不登校があったり悩みの多い学生時代をすごした。小学校で信頼できるカウンセラーとようやく話ができるようになったと思った矢先に異動されて、とくに引継ぎも挨拶もないままだったこともあった。こどもの心は宙がりんになってしまった。ある時は小学校の養護教諭にとっても信頼をよせていたが、小学校卒業と同時に仕方のない事ですがもちろんそのつながりも絶たれた。継続的な支援の方法を考えていただきたいと思う。
- ・ 子どもが、学校でカウンセリングを受ける機会を増やしてほしい。いつも予約でいっぱいだったりするので。
- ・ 中学生、高校生に多く見られるようになってきた、起立性調整障害について、もっと認知してもらい、生活しやすく、体調が良くなる夕方に勉強ができるサポートがほしい。

6 こどもの最善の利益を支える仕組みづくり

- ・ 日本の学校は性教育が遅れている。海外のようにしっかり教えて行くことで、自分の身を守るようになるし、相手を大切に出来ると思う。とても大切な事が疎かにされていて、不思議に思う。
- ・ 子供主体の社会を目標に大人が立ち上がるべき。

7 その他

- ・ 人口減少に立ち向かうにはやはり出会いの場を設けた方がいいと思う。意外に独身で出会いがなくて困っている人たちが多。街コンもあるが、佐倉市内でのマッチングアプリを使ってみるのもアリだと思う。そして子供を増やすまずはそこからだと思う。

4 小学生本人

【分類別の主な意見】

1 街づくり

- ・ 甘い食べ物を売っているお店を作ってほしい。
- ・ 身近にお店をつくってほしい。

2 相談する場所

- ・ このように子供の意見を聞いてくれることを増やしていくと「悩みを抱えて他の人に相談できない」のような人が減っていけると思うのでこのような活動を個人的には増やしてほしい。
- ・ 途中の質問で答えたように個人的に子供は勝手に行動することが多いので大人は子供の意見や思いを聞き流すというときが学校や塾で多いので大人は子供の言う意見や思いを少しでも聞いて子供達がどのように思っているのか、どのような意見（発想）があるのかをわかってくれたら子供達も少しは喜んでくれると思う。まとめると子供達の意見や思いを聞いて納得してくれた方が子供達が喜んでくれると思う。
- ・ 自分の事をはっきりいえた。
- ・ もっといろんな人に話したい。

3 苦手の克服

- ・ どうしたら嫌いなマット運動が好きになれるか。
- ・ 国語が苦手。

4 家族の問題

- ・ お母さんとお父さんが一緒に寝ることや、お父さんとお母さんが一緒にいることがない（私はお父さんかお母さんと一緒に寝て、一緒にいるけれど、どっちとも一緒に寝ることや、一緒にいることがない）
- ・ 怒るのは私たちのためって知っているけど、あんまりガミガミ言わないでほしい。

5 スポーツ練習場

- ・ 自分の家の隣のもう一軒すごく利用ができないのでそこを雑草や木を刈り公園やスポーツ練習場にしてほしい。
- ・ サッカー場を作ってほしい。

6 遊びの場所

- ・ 自然がいっぱいな公園で、だれでも自由に遊び、のびのびとできるような公園がほしい。異世界系の本とか、漫画とか、いっぱい書いてほしい、それを見たい。安全な場所がほしい。一人でいれる場所がほしい。自由にいろんな動物が集まって、その動物に触れられるところがほしい。
- ・ おうちの近くの公園がとっても広いのに遊具が、すべり台、ブランコ、ゆすると動くよくわからない遊具しかない。しかもいつも草がぼうぼうなので奥のほうまで行きたくてもいけない。ここに走りやすい陸上競技場にあるような走る所や、バスケットコートか、バスケットのゴールがほしい。後はアスレチックがあると嬉しい。もしだめなら1年中葉がある木がほしい。お願い。
- ・ 誰でも無料で遊べる場所佐倉市に作ってほしい。

7 アンケート

- ・ アンケートの悩みで選んだ理由はいつか自分が仲間はずれにされるか、心配だから。
- ・ こういうアンケート調査はいいと思う。一人一人の意見がわかるから。

8 幸せについて

- ・ 子供は物価が高いことを気にしたりしてもいいのか。人生は自由に生きていていいのかなどの人生の話は気にしていいのだろうか。
- ・ みんなが幸せになってほしい。
- ・ 自分のことや自分が安心していられるような場所があんまりないことなどに悩みを抱えているような人もいるから子供に限らず安心して過ごせるような世界になってくれたらいいなと思った。

9 その他

- ・ 給食で、外国のご飯を食べてみたい。
- ・ これからも元気でずっと粘り強くいろんなことを知って行きたい。
- ・ うみ。

5 中学生本人

【分類別の意見】

- ・ 京成佐倉の駅にもっと駅ビルなるものを作ってほしい。
- ・ 大人の人に望む事はない。
- ・ 時間がかかると思うが、個人面談を開いて一人一人に今ハマってる物や趣味を聞いてみるのはどうか。
- ・ 遊びたい。
- ・ 学校楽しい。
- ・ なんで人間が損をしないといけないのか、一生懸命生きている人が得をする世界を作ってほしい。
- ・ 頑張ってください！！

6 青少年

【分類別の主な意見】

1 こどもの遊び場・イベント

- ・ 犬の散歩をしていると公園を利用している若者が少ないかと思う。前よりもボール遊びについて厳しくなり、コロナの影響で外よりも中で遊ぶ人が増えてきていると思う。公園の利用が増えるためにもボールで遊べるようにルールが緩和してくるといいと思う。
- ・ こども向けのイベントが割と年間通してあって良いと思うが、消防車やパトカーを見られるイベントの時に交通安全についてグッズがもらえるだけでなく、署員の方から少し説明してもらえたりするのいいなと思う。こどもたちは小学校とかでも習ったりするのもかもしれないが、親世代祖父母世代も一緒に聞ける機会があるといい。近所で高齢者の危ない道路の渡り方とかをこどもたちがマネしてしまうと危ないので上の世代の意識から変えていかないと、思うことが日々あるので。
- ・ 子供だけでなくその親も交流できる環境やシステムをもっと増やしてほしい。児童センターが発展拡充されるとうれしい。またそういった活動を行う団体への補助の拡大も必要だと思う。
- ・ こどもや若者が、大きくお金をかけずに学んだりできる機会が少なく感じる。広報に載っているようなサークル活動のようなものや集まりは、どうしてもお年寄りが多いのだろうと思ってしまう。以前、ふるさと広場で球根を植えられるイベントに参加させてもらったが、子どもにとってとても良い経験だった。そのような自然に触れる機会や、言語、異文化、食育などについて学べるような若者、子ども向けのイベントやサークル活動などが増えると嬉しい。
- ・ 夢さくら館を活用するが、乳幼児向けのイベントをもっと増やしてほしい（南部保健センターのような毎週事のイベントなど）。地域によってはバスやタクシーなどの公共交通機関が少ない場所もあるので、妊婦タクシーを置いてほしい。

2 交通・防犯

- ・ すごく住みやすく気に入っているが、ベイシアの前の道路がすごく混んでいるので通勤中はかなりストレスになる。ベイシアから出てくる車が歩行者や自転車を見ずにいきなり飛び出してくるため危なく、轢かれそうだったことが過去3回ありベイシアが営業中はペットの散歩は避けている。ペットの糞が放置されていることが多いので、散歩中に一回だけペットが食糞してしまい困った。こどもはまだいないので子育て的な意見はわからない。
- ・ 渋滞スポットが多く（寺崎や朝の東邦大病院前など）広い道も車線が少なく、流れが悪い状態。裏道を進めば手入れされず、ぼこぼこの道、見通しの悪い道にはカーブミラーも設置されておらず、事故の危険性の高い道が多くあります。改善希望。
- ・ 臼井駅に特急が止まらない、JR 臼井がない歩道が少ない、歩道が狭い歩道と車道の区別がないところが多い。臼井周辺に市民体育館を建ててほしい。水道代が高い、給食がおいしい、小中学校の設備の格差が激しい。花火大会の花火の迫力がすごい！綺麗！臼井周辺はのどかで過ごしやすいが、坂が多いのが気になる。田んぼ道が綺麗、道路環境が気になる。
- ・ 先日、出勤前に市立井野小学校付近の信号にて街頭指導をしている方をお見かけした。集団登校している生徒さんの中で1人だけ遅れ気味の子がおり、点滅→赤信号に変わった歩行者信号を走って渡ろうとしていた。車に乗っている我々はこちら側の信号が青になってもまだ生徒が渡っている途中である事は目に見えていたので、発進せずに止まろうと思っていたが街頭指導をしていた女性が生徒さんの危険を感じて身を呈して保護して横断歩道を渡らせずに元の位置へ戻っていた。恐らくは他のお子さんの保護者の方なのかと思われるが、思わず胸を打たれたので今後も市の方からも街頭指導の協力をお願いする。

- ・ 次世代の為に動いている人が少ない。利権や面目、保身に走り地域や周りのために動ける人が少ない。地域資源を蔑ろにし、ヤードが乱立し子供が自然と触れ合える機会が減っている。ヤードが増え大型トラックや廃品回収からの落下物、事故に子供が巻き込まれる事が増えてしまいそう。

3 街づくり

- ・ 佐倉市はもう少し佐倉市を発展させるべきだと思う。休みの日は毎週違う市に行くのはそういうこと。役所も、暗くて雰囲気がいいとは思えない。お年寄りの方の意見も聞くべきだと思うし佐倉市が大事にしなければならない部分もあると思うが若者が離れてく市にするのはいかがなものかと思う。
- ・ ユーカリが丘 20 年在住です。保育園のすぐ側で路上喫煙をされている方をよく見かけます。地面には路上喫煙禁止と書いてありますが、意味を成していません。路上喫煙を全て取り締まるのは難しいと思います。現状、ユーカリが丘には公認の喫煙所がありません。昔は現在の OK、オリンピックの建物の横に灰皿の設置があった。お金はかかるが、衝立のついた喫煙所が駅前があれば少しは改善するかと思う。駅に向かう人が多いので、北口の銅像の辺りなどの設置がよいかと思う。市民の健康被害（特に子ども達）や思わぬ事故を防ぐ為にも力を入れてほしい。
- ・ 臼井近辺に勉強、休憩スペースがほしい。
- ・ 公園の遊具が古くて怪我する恐れ有り。広い公園でイベント開催してほしい(地域だけの物、服フリーマーケット)ママ友交流会や、パパ友交流会などの友達作りをメインとした会(大人になると友達作りが難しい為)子どもが主役のフリーマーケットや、地域の子どもの交流会。
- ・ 歩きタバコの規制が緩いと思う。理由はこどもや若者という訳ではないが、登校中仕事に向かう社会人がタバコ(電子・紙共に)を吸っていて肺が痛くなってしまうことがある。

4 子育て支援

- ・ 保育園に通う子どもがいる。保育料やオムツ代などを考えると、妻が時短で働いたお給料はほぼそちらに消える。働くために保育園に預けるが、預けるために働いてるのではないかと思える。兄弟ものぞんでいるが、金銭的な余裕を考えると、望んだ人数を産めるかと考えてしまう。他の市のように複数人の子どもを育てる家庭への支援を望む。
- ・ 子供の医療費が高校生まで安く済むようになってとても良かったと思う。大学まで学費をサポートしてほしい。
- ・ 子育て支援がもっと目に付くところで増えれば良いなと思う。
- ・ 学校給食のような、栄養考えたご飯が食べられる食堂がほしい。民間のお弁当は高価で、冷たく量も少なくて美味しくない。子ども食堂は利用し辛い。子ども食堂が学校であれば利用しやすい。仕事で帰りが遅くなると、家族の夕飯を用意するのも大変。学校が子ども食堂であれば子どもだけでも安心して行かせられる。食料品が高く、家庭でバランスよく食べるのが大変。
- ・ 子供への習い事、塾、色々なことへの体験等させてあげたい。そのための費用はどうする。母が働く、ではその習い事への送迎は母が送迎する。物価高への皺寄せは子育て世代にはキツイ。

5 就業支援・仕事と子育ての両立

- ・ 少子化と言われている中、母親が安心して働きやすい職場環境。
- ・ 就業支援として資格取得などへ向けた講座や補助金など充実させてほしい。
- ・ 物価が上がっているのに、給料はそのままなのはどうかと思う。
- ・ 子育てしながらのフルタイムの仕事が本当に大変。配偶者の健康状態が不安定な為働かざるをえない。仕事での悩み、家庭での悩み色々あるが、悩んでいる暇がないくらい日々やらなくてはいけないことが多く毎日ヘトヘトになる。物価も上がるばかりで経済的にも大変。もっと、子どもがいる家庭が経済的に安定安心して精神的にも余裕がもてる社会にしてほしい。子どもが未就学の場合仕事を休まざるをえないことも多いが職場での理解が得られる事ばかりでは無い。子持ち様みたいな言葉が出て、風当たりが強くなってきているのを感じる。看護休暇もうちの会社の場合は無給だし。とにかく全てにおいて余裕がない。また、経済的に厳しいと習い事すらできないので佐倉市として無料の体験活動など色々と企画してほしい。
- ・ 社会は、親が子供の世話ができるように、5時までに家に帰れるシステムをつくるべき。5時に設定した理由は、子供の体力を考えて5時とした。5時以降は子供が疲れている。また、子供が自由に入出入りでき、勉強や読書、運動、お話などができる場所が必要と感じる。例としては、千葉市の「きぼーる」。

6 将来について

- ・ 23歳女。佐倉市だけの問題ではなく、日本という国において、出産、子育て、仕事、定年退職後の不安は皆抱えていると思う。今、将来を考えているパートナーと佐倉で生活していて、もし子供を産んで育てることになれば、このまま佐倉市で生活することを考えている。ただこの不景気の中、専業主婦で子供を育てることなど不可能に近く、自分の今の仕事を続けながら、女として「自分と愛する人の子供がほしい」という願いを叶えられるか、子供が独り立ちするまでちゃんと責任を取りきれのか、とてもとても不安。このままの社会の中で産んでも、私ではなく子供が苦しい思いをするだけなので、子供を諦めることも視野に入れて、パートナーと今後の話をしている。また、年金高いなあと思いつつ給与明細を見る度、自分がおばあちゃんになった時、どれだけしか貰えなくなるのだろう、生きていけるのか、と暗い気持ちになる。こういった問題は、ありとあらゆる事の積み重ねで起きた結果であり、すぐに解決することの出来ないこと。少しでも働きやすい社会、生きやすい社会を作るため、税金を今の若者のために使ってくださいと嬉しい。今の若者が未来に希望を抱くことができれば、少しずつ社会が良くなっていくと信じている。長文失礼致。
- ・ 海外で行われている「キャリアデー」のようなものを、佐倉市主体もしくは佐倉市の学校など主体で取り組んでほしい。職業体験も良いが、一定の職業しか体験できないので、実際に働いている大人の話聞ける場があれば、こどもの職業選択の幅が広がって良いと思った。
- ・ 若者が楽しく未来が見えるような街づくりに伴った税金の使い方、政策をしてもらいたい。
- ・ 物価ばかり上がり、給料が上がらず、経済不安によって、就職に対する不安がより大きさを増している。民間企業に就職したとしても、経済が低下していると企業規模の縮小や倒産などの煽りを受けるかもしれないので、受験資格の年齢制限を上げて、公務員の求人数採用率を上げるなどして明るい将来への道標を提供してもらいたい。
- ・ 給料は上がっても天引きされる額が高いので手取りが増えていかない。将来が不安になる。佐倉市は不祥事が続いており市政が信用できない。生活の困りごとを相談したときにきちんと対応してくれるのか、また相談した人と対応した職員が守られる環境が整備されているのか不信感がある。

7 配慮の必要なことも

- ・すでに二児の母ですが子どもが小学校一年生になりたてで、学校はもっと楽しいところだと思っていたと、行き渋り不登校を繰り返している。現在は支援級に通っていて、子どもにあった支援を受けているが、先生が変わるなどして変わることも多いので、先生、学校に関係なく、また普通級も関係なく、公立学校がもっと個性豊かな子を受け入れられる環境になればいいと心より願っている。
- ・発達障害を抱える方が多いと思う。でも具体的にどこの施設に頼れば良いかわからないのではないかと。学校の遊具が少ない。広い公園には駐車場があると良い。台数も多いと良い。地域でレンタル子供用自転車があると助かる。自転車が重い。サイズアウトする事を考えると買えない。もしくは練習会を開いてもらい自転車を買わなくても練習できる場があればいい。有料でも参加する人いると思う。
- ・コロナウイルスの自粛で失った青春を取り戻せる機会と場所がほしい。
- ・インクルーシブ教育を進めることは良いことだと思っているが、そのためには親、園、学校の先生などがその子の特性をよく知って、教育現場の環境に反映させる必要があると思う。小学校教育ということも考えると、まずは5歳児健診で拾うことが重要であると考えているが、(既に起用していたら申し訳ありませんが)医療、福祉、発達などに精通している作業療法士や言語聴覚士を起用してはいかがか。学校教育においてもその子どもの特性に応じた環境調整やどんな声かけが有効なのか、などのアドバイスなどについても作業療法士の専門性を生かせると思う。健診のみで終わらず、その後のフォローアップ体制を整えていくことが地域で子どもを育てやすい環境を作ることに繋がるのではないかと思う。既にやっていることでしたら申し訳ない。
- ・未だ虐待されている子供がいるので、1人でも多くの子供が幸せに暮らせる社会になってほしい。

8 インターネット・SNS

- ・これからは、経済的に子供が生きにくい世の中だ。インターネットの発達で友達関係に苦労をするのではないかと。
- ・インターネットが普及し自分達の子供の頃より言語発達が見られるがコミュニケーションの能力が低下しているように感じる。
- ・自分達の学生の時よりも、SNSが発達していて生き辛いだろうと思う。悪いことを考えている大人と容易にコンタクトを取ってしまう環境も良くないと思う。
- ・自分が中高生だった時と違い、中高生がネットで場所や時間も関係なく誰とでも繋がっているのは良いこともあるが、いじめや誹謗中傷も気軽に行えるという状況がとても恐ろしく感じている。
- ・小学校の人数が少ない。学校によって違いがあるとは思いますが、学業の低下、運動量の低下、部活などほぼやる時間がないし、今のご時世、難しいことかもしれないが、もう少しやらせてもいいかと思う。先生方の負担もあるでしょうが。SNSなど事件性が多くなってきているのでそこら辺も、真剣に向き合っていてほしいものだ。なんにせよ、昔に比べて大人も若者も住みにくい、過ごしづらくなってしまった。

9 高齢者

- ・ 他人の生活を憶測で噂する老人の暴力性本当に腹立たしい。子供は宝であり未来。障がい者と子供、若者が住みやすい市であってほしい。若者だけでなく老人も孤独な想いをしてほしくないのでもそこもカバーされるべき。難しい！近所にいる他人の家の前に勝手に畑を作ってしまった老人が放置されているの本当に面白い。恥知らずすぎて。ルールとマナーの違いを理解してほしい。何も言われないから何してもいい訳ではない。注意されていても無視すれば大丈夫、注意する側も放置することで許されていると相手に思わせている業の深さ。ゴミ捨て場のカラス荒らしもしんどい。東京のように各家の前にゴミを出す方式にしてほしい。前日にゴミを出す人、5時にゴミを出す人。その人らのせいでカラスがゴミを荒らし臭い生ゴミやぐちゃぐちゃの残飯に濡れた紙ゴミ。近所の優しい人やゴミ置き場の前に住んでいる人が片付けている。他にも生ゴミや腐ったパンが庭に落ちている時もある。他人の善意にフリーライドするような人に優しさ奪われ減っていくものはどうやって回復するのか。自然や極論で乗り切ろうとする暇な人と戦うのは難しい！美味しいレストランや豊かな自然だけでなく現実に戻してくれるような愉快な頭おかしい人に囲まれて私たちは何て素敵な所に住んでいるのでしょうか！幸せです！
- ・ 佐倉市政は子どもではなく、高齢者を優先しているように感じる。多数派である高齢者に配慮せざるを得ないのは理解するが、長期的な視野で考えると人口維持につながる子ども優先の施策が全世代にとってメリットがあると考え。一部署で対応できることではないため市長のリーダーシップに期待する。
- ・ 最近個人化が進み、人との関わりが以前に比べて減りつつあると感じる事がある。親が高齢の方と関わりがなければ子供たちも関わる機会が減ると私は考えている。個人化が進むことは個人の選択肢を増やす機能をもつため悪いことでは無いが地域の互助が減るため、子供とご高齢の方が沢山かかわれる場所があったら良いと思う。私の地域でも班があり清掃や、ミニイベントを通して様々な人と関わりがあるが、最近では班から外してほしい、回覧板を回さないでほしいと言っている人(50代の方)もいる。いずれは同じ地区に住む近所同士の関わりがなくなって行くと感じている。しかし、1人で暮らしている高齢者の方の生活状況や健康状況を近所の人達とコミュニケーションをかわすことによって把握することが出来るため、近所の関わりはとても大切なことだと私は感じている。私は現在学生だが、親が個人化を望む人だった場合、子供も強制的に個人化優位の暮らしになってしまうと考えているため、子供とご高齢の方がかかわれる場所があれば良いと考えている。
- ・ 既に実施されている認知症セミナーのような無料講座がもっとあれば嬉しい。
- ・ 老人が多く外人が増えている今の日本では子供とても不利な立場なので、もっと生活費の適切な割合や投資等のお金の知識をつけさせて自力で生き残る力をつけてあげれば理想的だと思う。

10 政治について

- ・ 私はもう社会人だが、母子家庭で母もパートなので今生活するだけで精一杯。一人暮らしするお金も将来の自分のために使うお金も貯金できない。正社員フルタイムで働いていても将来に希望がないなと思ってしまう。議員の皆さん、朝の時間帯に駅でよく演説しているが、正直若者には響かない。朝からうるさいな~と思っている人が多いと思う。今の若者はタイムパフォーマンス重視の傾向があると思うので、もっとわかりやすく端的に何をしてくれるのか伝えてほしい。選挙の前にはみなさんの主張を端的に一覧にして並べてくれたら、もっと比較しやすく参加しやすいと思う。

- ・ 少子化が進んでいる、経済が衰退している、賃金はあまり上がらずに物価は上昇と、子どもや若者にとっては明るい将来を描けない状況にあると思う。多くの若者は閉塞感を感じていると思う。税金や公共料金が高く、生活費に回せるのはそれほど多くない。これでは子どもを産み育てようとは、なかなかならない。未就学児はもとより、成人するまでは、これまでの政策をゼロベースで見直すくらいの手厚い経済的な支援が必要だ。子どもが増えなければ、経済は衰退する。地域の活力も削がれていく。少子化対策は喫緊の課題である。佐倉市が単体で出来ることは限られているかもしれないが、子育て世代が佐倉市に移住してきたくるような、かつ、更に子どもを産み育てたくるような、魅力ある経済的な政策の実現を期待したい。
- ・ こどもの医療費が安すぎる。子どもや若者支援をするのは悪いことではないが、若者に属さない独身や子なし世帯にも優しい世の中になってほしい。そちらに負担や皺寄せがあると思う。
- ・ さっさと政治を変えてほしい。外国人受け入れ増やしたり、私たちの税金が意味のわからないことに使われてるのが日本絶滅に向かってると思う。6ヶ月の子供を育てているが、不安でしかない。
- ・ 国政だけでなく、佐倉市の政治、政策は常に票田である高齢層に向けており、若年層、特に若手労働者への支援は皆無と言えるレベルであると感じている。働けど働けど、高齢者に収入をむしり取られる時代となっており、我が子たちにも「日本で働いたら幸せになれないから、海外へいきなさい」と日々教えており、どんな仕事だとしても海外で就労できるよう教育している。このような現役世代の危機感が現職の議員の皆様が届いていない時点で、日本の終わりを日々感じている。また、こんな状況においても、特に今年度、来年度のスピード感で抜本的な少子化対策、現役世代への支援がされないならば、それは国が衰退することを推進されると受け止めるしかない。ここまで散々裏切られ、散々高齢者に泥水を啜らされたが、今回をラストチャンスとして、若年層向けの抜本的な支援策に取り組みれることを期待する。

11 友達作り

- ・ 新しい友達を作れる出会いの場がほしい。
- ・ 私は佐倉市に結婚を機に引っ越して来たのでまだ日が浅く、街についてわからないことが多いが、私自身ヨガをやっているのもう少し趣味を楽しめる場所があれば近くに友人も出来るのではないかなあと思った。
- ・ コロナウイルスの自粛で失った青春を取り戻せる機会と場所がほしい。

12 若者支援

- ・ 子供や、若者が生活しやすい環境や給付金などの助成、就職にむけて力になってくれるなど、生きやすくて過ごしやすい市になってほしい。
- ・ なんでアンケートを実行してるのか？今の制度を変える事を希望できるか？現在僕は奨学金制度でお金を借りた。まさかの生活費が足りず自立できない、現実に苦しむ、僕らは何の為に勉学を学び社会にでるのか？と考える。自分の未来に不安で結婚も考えられないでいる。子供の夢は両親が共働きで何とか叶うように思うけど、子供は寂しい思いをしてる現実に大人はどう思うのか？苦しんでるのは子供も同じ。親が辛い環境は子供に影響は大きい。どうか、いい制度を完成させてほしい。

- ・ 高齢者に対する社会保障より、若者に対する社会保障をすべきだと思う。特に少子化対策について。日本の課題である少子化は、多くの社会問題の根本にあり、少子化の解決が他の問題の解決につながる事が考えられる。少子化の原因の一つとして、結婚のメリット・子供を産むメリットがない事が挙げられる。そこですべきなのは結婚のメリット・子供を産むメリットを作ることである。結婚に対する取り組みとして、政府は結婚助成金最大 60 万円の給付がある。例として千葉市の補助金交付要綱を挙げるが、沢山の条件があり申し込むことが可能な人は限られてくる。そのためより多くの人にとってメリットとなるよう改定すべきだ。子供を産むメリットについて。
- ・ 子どもや若者のための活動が実際に当事者達に届いているように感じられない現状がある。これは当事者の関心と提供する側の発信力、どちらも足りてないように感じるためきっかけを求め。また、目に見える活動だけでなく思想的部分においての変化が 1 番重要だと考えており、これは決して簡単なことではないと思うが、確実に進めてほしいと思う。
- ・ 現役で働いている若者の税金を安くしたり、色々と補助をしないと、賃金が低い地元では働こうとも思わないし、佐倉市に永住するメリットもないので、これからもどんどん若者や未来の若者達が、佐倉市から他の市に移住したりで結果今のお年寄り達しか残らないと思う。極論今の団塊世代達があと 10 年~15 年前後で亡くなる方が激増して、世代交代の時期が強制的にやってくるので、今からでも 20 代~40 代前後の若者中年世代を大切にしないと、市としてやばいなと危機感を感じる時期になるかと思う。かくいえ自分も結婚する時は、なるべく職場の近い所に家を持ちたいので、このまま佐倉市に住み続けるのはメリットなしでは難しい。

13 その他

- ・ 言葉遣いがわるい。
- ・ 律儀さ？とか気遣いなどが足りない人が多いような気がする。

佐倉市

こども計画策定のためのニーズ調査

発行年月：令和6年9月

発行：佐倉市 こども支援部 こども政策課

〒285-8501

千葉県佐倉市海隣寺町97番地

電話：043-484-6139